



移住・就農支援で 地域に恩返しを

「本庄農業女子」魅力を発信

牧野さん 自らの体験生かし

【埼玉】「地元の皆さんに、もっと地域農業の魅力をお伝えしたい!」と話すのは、本庄市の牧野涼子さん(46)＝写真。牧野さんは、2011年に夫の英二さん(52)と同市に移住し就農した。現在は3・5畝の農地でブロッコリー、ゴヤー、レタス、タマネギなどの露地野菜を生産する。この間、地域の農業振興にも取り組んでいる。

就農当初から積極的に地域と交流してきた牧野さん。農業委員をはじめ地域の農業者の支援もあ

り、販路の確保や技術の習得ができたという。奮闘する牧野さんの姿を見かけた地域の人からは多くの声がかかり、「経営規模の拡大にもつなげることができた」と牧野さんは話す。

また、16年には同市の女性農業者8人で構成す

る「本庄農業女子」を足。マルシェや料理教室などを開催して農業の魅力を発信するほか、県や市の協力を受けながら地産地消や女性農業者の取り組みの紹介などを行っている。

「お世話になった地域の人に恩返しができる

本庄農業女子のインスタグラム二次元コード



HONJONOUJYOUSHI

は」と語る牧野さんは「今後、移住や新規就農を考えている人たちに向け、農業のPRやサポートのようないことをしていきたい」と地域農業への思いを語る。